

12 市 立 病 院

1 市立総合病院

(1) 沿 革

明治12年に、木村謙斎、川瀬玄探ら 8 氏の主唱により字馬喰町地内に私立大館病院として創設され、その後、明治15年に50か町村連合による公立大館病院が成立。明治32年には字長倉地内に新築移転、更に、昭和 2 年字三ノ丸地内に新築移転した。昭和28年 4 月の大火により全施設を消失し、昭和30年 2 月までに現在地（豊町）に新築移転した。昭和39年からは公立大館総合病院となったが、財政事情の悪化により昭和41年 2 月12日に病院を運営する一部事務組合 公立大館総合病院事務組合（大館市、田代町、花矢町で組織）を解散し、翌13日に大館市が一切を継承した大館市立総合病院として発足した。

財政再建を進めながら、昭和45年 5 月には本館棟、昭和55年 3 月には放射線棟、昭和56年10月には神経精神科棟、昭和59年10月には新館棟、平成 9 年11月には新館棟屋上に教育実習棟が完成し、平成12年から平成21年にかけては高層棟などの大規模な増改築事業を行った。

また、地域の中核病院として医療の質の向上を図るため、平成24年度に D P C 病院への移行と病院機能評価の認定、平成25年度に臨床研修評価の認定を受け、そして平成26年度には地域連携室の開設や電子カルテの導入などに取り組んできた。さらに、平成28年度の地域包括ケア病棟導入と認知症疾患医療センター設置、平成30年度には鹿角地域の産科機能の集約化から患者の受け入れ体制を強化した。令和 3 年度より、地域の中核医療機関として救急医療機能の体制整備を行い、24時間体制での緊急PCI受入れを開始、令和 6 年度には地域救命救急センターを整備し、重症患者の受け入れ拡大を図るなど一層の診療機能の充実に努めている。

明治12年	「私立大館病院」として創設
15年	東大館町などの50か町村連合による「公立大館病院」が発足
32年	字長倉地内へ新築移転
昭和 2年	字三ノ丸地内へ新築移転
28年 4月	風呂屋町から発生した大火によって全施設を消失
30年 2月	現在地（豊町）に新築移転 許可病床数 一般147床、結核268床の計415床
30年 4月 ～ 12月	伝染病棟及び精神病棟完成 許可病床数 一般207床、結核268床、伝染36床、精神50床の計561床
39年 4月	「公立大館総合病院」へ名称変更 許可病床数 一般219床、結核303床、精神180床、伝染28床 計730床
41年 2月	極度の財政事情の悪化により「公立大館総合病院」を運営する一部事務組合は12日に解散。翌13日には大館市が一切を継承し「大館市立総合病院」として発足。許可病床数は、一般213床、結核207床、精神180床、伝染30床の計630床 一部事務組合より継承した不良債務は3億7,400万円に上り、その解消を図るため、向後 9 か年の財政再建計画を策定し、自治省より再建団体の指定を受ける

昭和45年 5月	病院施設の近代化・立体化のため本館棟を改築（地下1階、地上6階、総事業費6億9,400万円）許可病床数は、一般290床、結核150床、精神180床、伝染30床の計650床（昭和46年3月時点）
46年～ 47年	病床数の変更 昭和46年7月 646床、昭和47年1月 481床、昭和47年6月 一般325床、結核70床、精神80床、伝染26床の計501床
49年	再建団体の指定解除
55年 3月	放射線棟を増築(事業費10億500万円)
10月	病床数の変更 一般325床、結核70床、精神110床、伝染26床の計531床
56年10月	神経精神科棟を全面改築(事業費5億3,735万円)
58年 7月	病床数の変更 一般375床、結核10床、精神110床、伝染10床の計505床
59年10月	新館棟を増築(総事業費13億3,797万円)
63年11月	豊町に医師住宅を建築（総事業費4億867万円）
平成 6年 3月	放射線棟MRI室の増築（総事業費2億1,423万円）
7年11月	昭和63年度頃から経営が悪化し、国の第四次病院事業経営健全化措置による病院健全化団体に指定される
9年 7月	積極的な経営健全化に努めた結果、病院健全化団体の指定解除
11月	新館棟屋上に教育実習棟を増築(総事業費2億2,926万円)
11年 4月	病床数の変更 一般375床、結核10床、精神110床、感染2床の計497床
12年～ 21年	地上11階建屋上ヘリポート設置の高層棟の増築（本館棟の解体）、管理棟（旧新館棟）及び放射線棟の一部改築などの増改築事業を実施（総事業費108億400万円） 許可病床数 一般375床、結核6床、精神110床、感染2床 計493床
20年 4月	地方公営企業法の全部適用により病院事業管理者を設置
12月	平成19年12月に国が示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、「病院事業経営改革プラン」を策定
21年 5月	7対1入院基本料施設基準の取得（一般・結核）
11月	弘前大学との間で「専門医養成ネットワークに関する協定」を締結
22年 6月	病院ロゴマークの制定
8月	病院広報誌「おおだて病院だより」を発行
23年 1月	院内保育所を開設(事業費1,942万円)
12月	人工透析室を拡張(事業費9,520万円)
24年 2月	「病院事業経営改革プラン」の見直し
24年 4月	DPC対象病院となる
	病床数の変更 一般375床、結核6床、精神60床、感染2床 計443床 診療科名の見直し（新設、廃止、名称変更により22科から24科へ）
10月	外来駐車場を50台分拡張（1,380㎡ 事業費1,282万円）
11月	売店をコンビニエンスストアとして新規開店
12月	看護師奨学金貸与条例を制定

平成25年 1月	病院機能評価 (ver6.0) の認定を受ける 「総合病院年報」第1号を発行
11月	高校生病院見学会開催
25年12月	弘前大学寄附講座 (H25.10開設) によるフューチャードクターセミナー開催
26年 2月	臨床研修評価の認定を受ける
26年 5月	地域連携室を開設
26年 7月	あきたハートフルネットの利用開始。県内参加医療機関との情報共有化が可能となる
26年11月	電子カルテを含む新医療情報システムが稼働。患者一人 1 カルテの運用体制が確立される
27年 4月	呼吸器外科を新設。がん診療連携拠点病院として常勤医師 2 名の診療体制となる
28年 2月	臨床研修評価更新のため受審し、認定を受ける 地域がん診療連携拠点病院として平成32年3月まで4年間の指定を受ける
28年 4月	地域包括ケア病棟を導入
10月	認知症疾患医療センターを設置
29年 3月	平成27年 3 月に国が示した「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、「病院事業経営改革プラン」を策定
5月	新たに「地域医療を担う人材の育成」を追加するなど、病院の理念・基本方針の見直しを行う
30年 1月	病院機能評価更新 (精神科病院を含む3rdG:ver1.1) の認定を受ける
3月	臨床研修評価更新の認定を受ける
10月	鹿角地域の産科機能の集約化
10月	院内保育所で病児保育を開始
31年 4月	県北地域で唯一地域がん診療連携拠点病院として令和 5 年 3 月まで 4 年間の指定 (更新) を受ける
令和元年10月	県より秋田 D P A T 病院の指定を受ける
2年	新型コロナウイルス対応重点医療機関としての体制整備を図る
3年10月	24時間体制での緊急 P C I 受入れを開始
11月	電子カルテ等の医療情報システムを更新
4年 4月	院内で初の診療看護師を配置する
5月	「患者さんの権利」の見直しを行う
5年 3月	地域がん診療病院として令和 9 年 3 月まで 4 年間の指定を受ける
6年 4月	既存救急室等を増改築し地域救命救急センターを開設 訪問看護ステーションを開設

(2) 施設の概要

所在地 大館市豊町3—1 (TEL42-5370)

敷 地 病 院 敷 地・・・・ 36,608㎡

公舎敷地・・・・ 3,124㎡

建 物 病 院 (R C 造 1 1 階 建 他)

43,862.63㎡

職員宿舎（RC造 3階建） 4戸建1棟 431.81㎡(赤館)
 "（RC造 4階建） 16戸建1棟 2,491.95㎡(豊町)
 "（木造モルタル造） 2戸 187.15㎡(桜町)
 計 46,973.54㎡

病院建物区分

病棟等	位置	面積(㎡)	備 考
高層棟	1階	2,874.97	薬剤科、栄養科、剖検室、中央監視室、電気・機械室
	2階	2,762.68	産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、内分泌・代謝・神経内科、共通処置室、歯科口腔外科・矯正歯科
	3階	2,673.92	小児科、麻酔科、産婦人科、皮膚科、外科、臨床検査科、健診室
	4階	2,386.29	手術室、中央材料室、臨床工学科、臨床工学器材保管庫
	M4階	1,371.65	機械室、ピット
	5病棟	5階	産婦人科、小児科
	6病棟	6階	外科、HCU、循環器内科
	7病棟	7階	整形外科、外科、歯科口腔外科・矯正歯科、内分泌・代謝・神経内科
	8病棟	8階	脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
	9病棟	9階	消化器・血液・腫瘍内科、耳鼻咽喉科、感染症病室
	10病棟	10階	地域包括ケア病棟
	11病棟	11階	呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、結核病室
	PH1階	878.03	外調機置場
	PH2階	165.08	EVホール、ヘリポート
	PH3階	138.43	EV機械室、高架水槽
	計	25,823.90	
モ ー ル	1階	547.05	SPD倉庫、備蓄倉庫
	2階	1,573.81	受付ホール、正面玄関、地域救命救急センター、患者サポートセンター相談室、入院案内ほか
	3階	870.96	コンビニエンスストア、イートインスペース、ギャラリー、地域救命救急センター
	計	2,991.82	
管 理 棟	1階	1,417.61	診療情報管理室（医療情報係）、寝具倉庫、消毒室、院内保育所、病児保育室
	2階	1,386.94	整形外科、リハビリテーション科、会計窓口、医事課、患者サポートセンター、医師事務支援室、認知症疾患医療センター、緩和ケアセンター
	3階	1,389.86	泌尿器科、人工透析室、管理者室、院長室、副院長室、看護部長室、看護管理室、医療安全推進室、感染制御室、経営企画課、総務課、第三会議室
	4階	1,389.80	医局、第一会議室、図書室
	5階	867.19	教育実習室施設、第四会議室
	PH1階	416.21	EV機械室
	計	6,867.61	
放 射 線 棟	1階	1,254.16	カルテ・フィルム庫
	2階	1,432.03	レントゲン室、MRI室、ライナック室、地域救命救急センター（一部）
	3階	1,224.00	消化器・血液・腫瘍内科、放射線科、化学療法室、RI室、読影室
	PH1階	343.53	EV機械室
	計	4,253.72	
神経精神科棟	1階	1,516.97	神経精神科外来、訪問看護ステーション、第五会議室
	2階	1,811.66	神経精神科病棟
	PH1階	27.00	EV機械室
	計	3,355.63	
その他		569.95	旧独身寮、渡り廊下、塵芥保管庫 ほか
合 計		43,862.63	

救急救命センターの新設に伴い、全体面積を再積算した

看護体制 一般病棟 7対1 （地域包括ケア病棟は13対1以上）
 結核病棟 7対1
 神経精神科病棟 13対1

(3) 理念と基本方針（平成29年5月変更）

〔理 念〕私たちは、患者さんが安心と満足を得られる医療を展開します。

〔基本方針〕

1. 患者さん中心の「医療」

患者さんとの信頼関係を大切にし、病める人への配慮を常に忘れず、心のこもった患者さん中心の医療を提供します。

2. 地域の中核病院としての「医療」

地域中核病院としての役割を担い、二次医療を中心に業務を遂行します。

常に医療の安全と医療水準の向上をめざし、診療機能の充実を図ります。

地域の医療、保健、福祉との連携を緊密にし、地域住民の健康を守ります。

3. 全職員参加の「医療」

全職員は、自己の業務を十分に理解し、他の医療職種との連携を図ってチーム医療を推進し、自己に課せられた業務に意欲的に取り組み、病院機能の一層の充実を図ります。

全職員は、病院運営に参加しているという自覚を持ちます。

4. 地域医療を担う「人材の育成」

臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設・臨床実習病院として、教育・研修体制の充実強化を図り、次世代の地域医療を担う人材を育成します。

〔患者さんの権利〕

患者さんには次のような権利があります。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 公平かつ平等な医療を受ける権利 | 2. 尊厳を尊重される権利 |
| 3. 十分な説明を受ける権利 | 4. 自己決定の権利 |
| 5. 情報を知る権利 | 6. 他の医師の意見を聞く権利 |
| 7. 個人情報を守られる権利 | |

(4) 業 務 内 容

外来患者及び職員数

（令和6年5月1日現在）

診療科名等	外来1日平均患者数 (5年度実績)(人)	職員(人)	診療科名等	職員(人)
管 理 者	-	1 (1)	薬 剤 科	18
院 長	-	-	臨 床 検 査 科	21 (1)
呼 吸 器 内 科	25	3 (3)	栄 養 科	7
循 環 器 内 科	59	4 (4)	医療安全推進 室	1
消化器・血液・腫瘍内科	112	6 (6)	臨 床 工 学 科	6
内分泌・代謝・神経内科	98	3 (3)	神経精神科リハビ リテーション室	4
神 経 精 神 科	52	3 (3)	認知症疾患医療 セ ン タ ー	1
小 児 科	55	4 (4)	N P 室	2
外 科	53	6 (6)	診 療 局 計	150 (54)
呼 吸 器 外 科	12	2 (2)	看 護 部	335
整 形 外 科	106	4 (4)	訪 問 看 護 ステーション	3
リハビリテーション科	整形外科に含む	21 (0)	事 務 局	35
脳 神 経 外 科	26	3 (3)		523 (54)
皮 膚 科	56	0	(注) () 内は常勤医師数	
泌 尿 器 科	138	3 (3)		
産 婦 人 科	75	5 (5)		
眼 科	34	2 (-)		
耳 鼻 咽 喉 科	27	2 (2)		
歯科口腔外科・矯正歯科	31	1 (1)		
放 射 線 科	16	15 (1)		
麻 酔 科	0	2 (2)		
患者数計	975			

入 院 患 者

区 分	一般病床	結核病床	精神病床	感染症病床	計
許 可 病 床 数	375床	6床	60床	2床	443床
1 日平均患者数(5 年度実績)	243人	0人	24人	0人	267人

(5) 業 務 の 推 移

年度 区分			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
病 床 数			443床	443床	443床	443床
患 者 数	外 来	1 日 平 均	976人	966人	975人	975人
		年 計	236,180人	234,630人	237,037人	236,925人
	入 院	1 日 平 均	266人	264人	267人	309人
		年 計	97,162人	96,191人	97,705人	113,094人
診 療 収 入	外 来	患 者 1 人 1 日 平 均	15,705円	16,481円	16,527円	16,800円
		年 計	3,709,451千円	3,867,020千円	3,917,624千円	3,980,340千円
	入 院	患 者 1 人 1 日 平 均	51,268円	51,784円	52,235円	53,020円
		年 計	4,977,612千円	4,981,140千円	5,103,646千円	5,996,220千円
	年 合 計		8,687,063千円	8,848,160千円	9,091,270千円	9,976,560千円
職 員 数	管 理 者		1人	1人	1人	1人
	医 師		51人	48人	50人	53人
	看護師(准看護含む)		339人	336人	333人	338人
	医 療 技 術 員		92人	91人	91人	95人
	事 務 職 員		31人	30人	32人	35人
	そ の 他 職 員		1人	1人	1人	1人
	計		515人	507人	508人	524人

令和 6 年度患者数及び診療収入は予算見込み。

職員数は年度末時点(令和 6 年度は 5 月 1 日時点)

2 市立扇田病院

(1) 沿革

当院は明治40年11月、扇田町により内科、外科、眼科の3科からなる「公立扇田病院」として開設された。同42年には、地元資産家等の支援により施設が新築されたが、その施設も大正5年9月に火災に遭い、焼失。同8年に389㎡の新病院が再建された。

昭和2年には産婦人科、同3年には耳鼻咽喉科を増設。京都大学の鳥潟隆三博士（大館市花岡町出身）の協力を得て、内科、産婦人科、外科に同大学より医学博士を招聘し、診療体制の充実を図り、県内外より患者が殺到し、経営も好調であった。同7年には東館村独鈷と錦村毛馬内に出張所を開設した。

昭和30年合併により比内町が町制施行されたのを機に、病院整備事業に着手し、5棟延べ面積3,000㎡を超える充実した施設に改築された。また同33年には、医局が京都大学系から弘前大学系へと交替した。39年に患者送迎バスの運行を開始し、住民の受診の利便性向上を図った。また41年には附属准看護婦学院を開設し、49年までの8年間にわたり、看護職員の人材育成に努めた。

昭和58年12月には比内町の長年の懸案であった移転新築工事が終了し、現在地での診察を開始。内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、皮膚泌尿器科、産婦人科の診療科8科、一般病棟110床の近代的な設備に一新した。翌年には病床数を150床に増床し、同60年には総合病院の認可を受けている。

平成5年には予防医療の充実を図るため、ドック棟（591㎡）を増築。同13年には院外処方による医薬分業を実施。また疾病の早期発見と高精度化のため、MRIを導入した。同15年には高齢化社会の到来に対応するために、一般病床の一部を療養病床に転換した（一般病床94床、療養病床42床）。平成18年8月には産婦人科医師の大学からの派遣が中止されたため、県内有数の分娩数を誇った産婦人科病棟が廃止された。一方で、「オープンベッド」や「夕やけ診療」などの新規事業にも積極的に取り組んでいる。平成20年4月1日から地方公営企業法の全部適用により新たに病院事業管理者を設置。21年4月には一般病床を62床に縮小している。平成24年4月より小児科、皮膚科、産婦人科の3科を廃止するとともに、内科、外科を総合診療科として診療を行うなど療養環境の向上を図りながらより効率的な経営基盤の確立を目指している。

(2) 施設の概要

所在地	大館市比内町扇田字本道端7番地1（TEL 55-1255）
敷地	病院敷地……………16,643㎡
建物	病院（RC造）……………7,765㎡
病院建物区分	

病棟等	位置	面積(㎡)	備考
管理部門	S 階	1,060	機械室、電気室、中央監視室、事務室、厨房食品庫、リネン室、安置室、洗濯室、霊安室
	1 階	560	事務室、診療情報管理室、当直室、更衣室、会議室、理容室、ラウンジ
	2 階	488	家族待合室、医局、院長室、副院長室、看護部長室、仮眠室
	3 階	38	機械室
	4 階	18	機械室
	5 階	44	ポンプ室
	P H	73	ポンプ室
	計	2,281	

病棟等	位置	面積(m ²)	備考
診療部門	S 階	66	解剖室、準備室、標本室
	1 階	2,228	総合診療科（内科、外科） 整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、発熱外来、検診室、心エコー室、特診室、X線撮影室、一般検査室、生理検査室、機能訓練室、電気治療室、薬局、薬品庫、待合室、ホール、地域連携室、内視鏡室
	2 階	408	手術室、準備室、更衣室、消毒室、サプライセンター
	3 階	151	救急処置室
	計	2,852	
病棟部門	第2病棟	2 階	872 一般病床（内科、外科）
	第2病棟	3 階	702 一般病床（内科、外科）
	第4病棟	4 階	872 療養病床
		5 階	143 サンプルーム、浴室
	P H	44	機械室
	計	2,632	

(3) 理念と目標

〔理念〕 地域のみなさまの「心の支えとなる病院」をめざします

- 〔基本方針〕
- 1 地域のみなさまの健康と福祉の増進に貢献します
 - 2 地域のみなさまの健康な生活を支える役割を果たします
 - 3 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します
 - 4 地域と医療機関との連携を保ち、信頼される医療活動に努めます

(4) 業 務 内 容

1 日平均患者数

(令和 5 年度実績)

診療科名	外 来	入 院	備 考
総合診療科(内科、外科)	87.3人	35.7人	
整 形 外 科	7.3人	0.0人	
眼 科	3.2人	0.0人	
耳 鼻 咽 喉 科	0.0人	0.0人	
療 養 病 床	—	32.6人	
合 計	97.8人	68.3人	

(5) 業 務 推 移

区 分 \ 年 度			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
病 床 数			104床	104床	104床	104床
患 者 数	外 来	1 日 平 均	111.8人	110.5人	97.8人	122.0人
		年 計	27,054人	26,847人	23,742人	29,646人
	入 院	1 日 平 均	67.3人	69.0人	68.3人	76.0人
		年 計	24,585人	25,183人	25,015人	27,740人
診 療 収 入	外 来	患 者 1 人 1 日 平 均	10,298円	10,666円	10,885円	10,650円
		年 計	278,606千円	286,343千円	258,442千円	315,729千円
	入 院	患 者 1 人 1 日 平 均	27,901円	27,660円	27,028円	28,500円
		年 計	685,950千円	696,569千円	676,094千円	792,756千円
	年 合 計		964,556千円	982,912千円	934,536千円	1,108,485千円
職 員	医 師		5人	4人	3人	3人
	看 護 師 (含 准 看)		46人	48人	46人	42人
	医 療 技 術 員		13人	11人	10人	10人
	事 務 職 員		9人	10人	10人	9人
	計		73人	73人	69人	65人

令和 6 年度患者数及び診療収入は予算見込み。

職員数は年度末時点(令和 6 年度は 4 月 1 日時点)